

2 東部住区

① 基本的な考え方

東部住区は、玉川上水や牟礼の里をはじめとした現存する緑や周辺の農地の保全と、それらの資源を活かした風景・景観づくりを図るとともに、良好な環境の整備、団地の建替え等に伴う周辺環境整備など、それぞれの土地利用の形態と特性に合わせたまちづくりを推進します。また、交差点改良や歩行空間の確保により、地域の交通環境の改善や、緑の保全と周辺の住宅地環境の向上など、市のまちづくりとの連動を図り、良好な環境の保全・整備に取り組みます。

東八道路沿道では、三鷹市に相応しいまちづくりの観点から、沿道周辺の住環境や現存する農地との調和を図ります。

また、東京外かく環状道路事業においては、周辺の都市計画道路の整備など国・東京都が示した「対応の方針」が確実に実施されるよう国や東京都に強く要請します。ジャンクション上部を蓋かけし、周辺の農地の保全等を含めた「北野の里（仮称）」の整備に向けた取り組みを進めるとともに、周辺の都市計画道路の整備にあわせたまちづくりの誘導等を行います。

② 主な事業の方向

- 1 牟礼コミュニティ・センターの防災拠点化を推進するとともに、耐震補強工事を実施します。
- 2 都市計画道路 3・4・13号（人見街道～連雀通り）の整備を進めるとともに、バリアフリーのまちづくり基本構想の重点整備路線である都道（連雀通り、吉祥寺通り、人見街道など）について、安全で快適な歩行者空間が整備されるよう東京都に要請します。
- 3 東京外かく環状道路事業においては、三鷹地区検討会等で市民から提起された課題について、中央ジャンクション蓋かけ上部の整備や、周辺の都市計画道路の整備など、国・東京都が示した「対応の方針」が確実に実施されるように強く要望します。また、多岐にわたる課題について、柔軟に対応できるよう助言者会議等で検討を行うとともに、市民生活への影響に関すること等を三鷹市独自の視点で検討し、東京外かく環状道路事業が適切に進捗していくよう国等に要望します。
- 4 緑と水の回遊ルートの拠点である牟礼の里を中心に、「農のある風景」を保全し、地域特性を活かした都市景観を形成します。北野ハピネスセンター周辺については、農の風景を象徴するけやき並木や屋敷林などの三鷹の原風景を保全するため、当該地域の道路等をモデル事業として位置付けて取り組みを進めます。
- 5 史跡に指定された玉川上水については、両岸の緑地を自然資源として保全するとともに、神田川については、遊歩道の整備などを行い、川沿いのまちづくりを推進します。
- 6 都市再生機構がかかわる団地の建替え等の大規模開発について、三鷹台団地では、防災倉庫の設置、福祉施設等の公共・公益施設の設置などを検討するとともに、今後行われる民間開発事業が、地区計画に沿って周辺のまちづくりと一体的に整備されるよう誘導します。また、牟礼団地については、市道第 47 号線の整備に取り組むとともに、東西道路の誘導を図り、災害に強いまちづくりを推進します。



牟礼の里（三鷹風景百選）

東部住区

凡例

- 平成 22 年度までに完了
- - - - - 平成 23 年度以降に実施
- まちづくりの主な取り組み事例
- コミュニティ住区界
- 三鷹市界
- ⊗ 学校



※まちづくりの主な取り組み事例の範囲等は、おおよそのイメージです。
 なお、本住区内のものを中心に記載しています。